

つながる北嶺打線

【会津北嶺—小名浜海星】2回裏会津北嶺無死満塁、先制の適時打を放ち豊上でベースを取る武島—あいつ球場



会津北嶺 6—1 小名浜海星

先制の適時打を放った会津北嶺の8番武島大輔(3年)は「単打を重ねていくことを心がけた。得点につ

なげられて良かった」と誇らしげに振り返った。

春の大会では中軸を任せられていた武島。打撃の調子はあるように上向かなかったが、体を開かずスイン

グできるように練習を重ねた。この日迎えた2回無死満塁の好機。相手が前進守備を敷いていると見るや直球をしぶとくはじき返した。

チームは昨年の大会で4強に残った。武島は「遠いものと思っていった甲子園が現実味を帯びてきた。自分たちの代で出場したい」と闘志をみなぎらせた。

チーム唯一の適時打を放った小名浜海星の4番渡辺翔太(3年) 思い切りバットを振り意地を見せられた。後輩には諦めない気持ちを持事を大事にしてほしい。

小名浜海星	打	安	点
⑤	1	0	0
⑧	2	0	1
⑥	1	1	0
⑦	1	0	0
④	1	0	0
③	1	0	0
①	1	0	0
②	0	0	0
⑤	0	0	0
⑧	0	0	0
⑥	0	0	0
⑦	0	0	0
④	0	0	0
③	0	0	0
①	0	0	0
②	0	0	0
⑤	0	0	0
⑧	0	0	0
⑥	0	0	0
⑦	0	0	0
④	0	0	0
③	0	0	0
①	0	0	0
②	0	0	0

会津北嶺	打	安	点
⑤	0	1	0
⑥	0	0	0
⑦	0	0	0
①	0	0	0
②	0	0	0
③	0	0	0
⑧	0	0	0
⑨	0	0	0
①	0	0	0
④	0	0	0